

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和元年度）2019

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	7	9	火	10:30	15:00	藤金市民の森	4名
活動名称	藤金市民の森・藤小3年生 自然体験学習支援事業					報告者：吉井 優	

1、活動目的：藤小3年生の藤金市民の森を使った自然体験学習を支援し、児童に身近な自然である藤金市民の森に親んでもらい、藤金市民の森を故郷の森として、次世代に残してもらうきっかけになってほしい。

2、＜活動内容ほか＞

- 10:30 スタッフ集合 魚捕り、ハンモック、竹細工の材料を軽トラに詰め込む。
- 11:10 シルバーの倉庫からブリッジを持ち出し大谷川に橋を架けた。ハンモックを張り、竹細工用シートと竹置き台、竹ノコギリを設置し、竹の切り出し開始
- 11:45 児童到着 挨拶後各班に分かれ、調査開始。昆虫班はシルバー裏の草原でバッタ、トンボ採集。その他森の中、大谷川で調査活動。
- 12:30 児童と皆でお弁当タイム。
- 13:10 ハンモック組と竹細工組に分かれ体験する。30分で入れ替え。
- 14:10 おにごっこなど、児童が森でやってみたかった遊び実施。
- 14:40 学習会終了、児童が帰って、道具を片付けて、全て終了。

3、評価： 前回と違い、11:40の4校時から昼食をはさんで5校時まで野外授業ができて調査に遊びとたっぷり市民の森を体験できた。前回のあわただしさと大違いシルバー裏の原っぱや、市民の森の雑木林で、走りまわる子供たちをみると、森の整備をやってつくづく良かったと実感することができた。

4、課題： やはり橋が必要と感じた。台風で水没しない、高倉市民の森上流と同じような道路より高い位置の橋を提案しましょう。

＜里山参加会員＞吉井、佐野、小沼、小澤弘

＜活動写真＞

